

治療を終えた多くの小児がん経験者の方は、大きな問題なく日常生活を過ごします。しかし、強力な治療や長期にわたる療養生活の影響などによって、治療が終わって数年してから健康上の問題が現れたり、治療中から続いている体調不良や成長・発達に伴って生じる心理的な問題などがみられることがあります。

「長期フォローアップ外来」では、こうした問題によって生じる悩みに対して、長期的な視点で医師や看護師、心理士などの多職種で連携しながら支援していきたいと考えています。

退院後は、「血液・腫瘍」の外来を定期的に受診していただきますが、いつか大人になっていくこどもが、その成長発達の過程で、少しずつ大人になる準備を進めていくことが必要です。

長期フォローアップ外来では、以下のような支援を提供します。

- ① 自分の健康状態について、そのこどもなりに理解し、適切に対応できるようにするための健康教育
- ② 困りごとに応じた社会資源をはじめとする情報提供や対応

例えば、幼少時に治療を受けたお子さまに、どのように病気の説明をするかについてや、就学や就労に伴う心配事、などについても一緒に考えていくことができます。

#### ✚ 長期フォローアップ外来受診の流れ

- ① 「血液・腫瘍」あるいは他科の診察までの待ち時間（採血の検査結果待ちなど）に、問診票をご記入いただきます。
- ② 問診票をもとに、看護師による面談を行います。お子さまの年齢によっては、お子さまとご家族別々に面談を行います。お子さまがどのように病気や治療を理解しているかについて、現在の健康状態や生活状況、困りごと、また将来の気がかり、その他心配していることや気になっていることなどについて伺います。
- ③ その後必要に応じて、面談内容を診察医師と共有し、その後診察となります。

#### ✚ 受診時期について

長期フォローアップ外来の受診は、治療が終了した後、おおよそ「10歳前後」および「18歳前後」頃を目安としておりますが、お子さまの状況により、受診時期や頻度は異なります。詳しくは外来担当医師よりご説明いたします。

「長期フォローアップ外来」の内容について詳しく知りたい方や受診をご希望の場合は、小児医療センター外来、または、がん相談支援センターの相談員までお問い合わせください。